



旅行に関する支出

- 家計調査結果より -

5月16日は「旅の日」^{注1}です。5月は大型連休もあり、各地に出かけられた方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、旅行に関する支出（以下、旅行関連費）^{注2}について、家計調査（二人以上の世帯）の結果から見てみましょう。

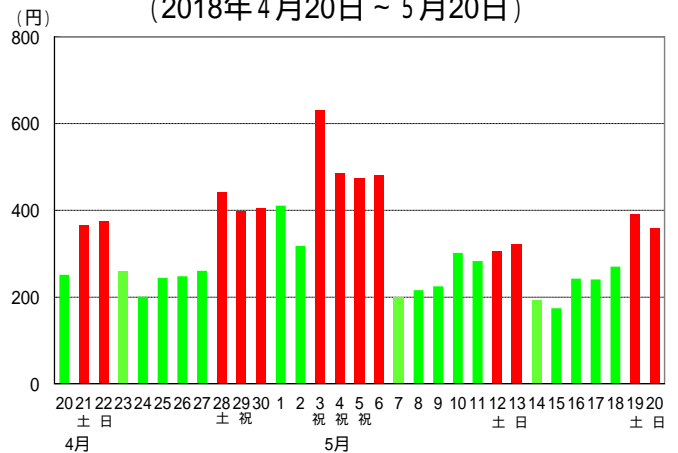
- 注 1. 「旅の日」・・・「日本旅のペンクラブ」が1988年に制定。松尾芭蕉が「奥の細道」に旅立った日。
- 注 2. ここでの旅行関連費とは、「鉄道運賃」、「バス代」、「航空運賃」、フェリー代やロープウェイ代などの「他の交通」、「ガソリン」、「宿泊料」、「パック旅行費」の支出を指します。

連休に多い旅行関連費の支出金額

2018年4月20日から5月20日までの日別の旅行関連費の支出金額を見ると、平日（5月1・2日を除く）の平均の238円や土日の平均の352円と比べ、4月28～30日の3連休は415円、5月3～6日の4連休は517円と、休日数が長くなるほど多くなっており、4連休は、平日の約2.2倍となっています（図1）。

（注）「パック旅行費」は事前に支払う場合が多いため、日別の旅行関連費には計上していません。

図1 旅行関連費の日別支出金額
(2018年4月20日～5月20日)



60～69歳の世帯のパック旅行費は 39歳以下の世帯の3.4倍

世帯主の年齢階級別に年間の支出金額を見ると、60～69歳が199,158円で最も多くなっています。内訳をパック旅行費とそれ以外に分けてみると、パック旅行費は60～69歳の世帯で最も多くなっており、最も少ない39歳以下の世帯の3.4倍となっています（図2）。

図2 世帯主の年齢階級別旅行関連費
(2018年計)

